

審査前講評

皆さんお疲れ様でした。9つのチーム全部を満点にしたいぐらいで、すごく困ってしまったんですけども、今回ぜひですね、このプレゼンで終わるというよりは、このプレゼンのためのすべてのプロセスが皆さんのすごくこれまでの学習だと思えますし、これから先もこれがすごく役に立つと思うんですね。これは、解釈レベル理論とマーケティングでは言うんですけども、解釈って物事を解釈する、レベルっていうのはレベルなんですが、人間って面白いもので当事者になるとならない、あるいは時間的に今やる、あるいは将来やるというので全く感覚が変わってしまうんです。なので、今回たまたま皆さんがA社の気持ち、Bさんの気持ち、Cさんの気持ちになってはじめて分かったことっていろいろあると思うんですね。それをぜひですね、今後も続けていただきたいんです。実はなぜ多様性が生まれえないかという、この解釈レベルとは実は裏表でして、みんな自分の立場でしかもの考えないからどうしても多様性が生まれえない。しかも自分の立場でしかもの考えないと、一番その人数が多い人の価値観で固着してしまうんです。ところが大沢先生がおっしゃった通り、世の中ってどんどんどんどん変わってくるんで、その固着した価値観というのがなかなか世の中に合わなくなってくると、いろいろなものの衰退が始まります。ですので、すごく今回いい機会だったと思いますので、それぞれまたいろんな人の立場に立ってものを考えて、あと今日、皆さんが残りの8チームのプレゼンテーションを聞いたときに抜けていた視点がたくさんあったと思うんですね。だからその抜けていた視点が、そこが自分たちと違ったのかということ、ぜひもう一度チームに持ち帰って議論していただきたいんです。

また、お一人で参加の方はですね、他の方とちょっとディスカッションしてみてください。これからまた私、審査で30分くらい引っ込みますので、その間にぜひですね、みんな仲良くなって欲しいんですね。3番目の最後として、せっかく皆さんにこうやって出会いがあったので、皆さんのチーム同士が仲良くなっていただきたいし、今日いろんなこういう学びがあったとか、こういう話をしたということ、ぜひお友達にたくさん話してみてください。そうすると、「えー。そんなくだらないことをやっていたの？」という人から、「えー。面白い。何それ？」という人まですごくですね、話に幅があると思うんですよ。その話の幅こそがまたもう一つ多様性なんですね。その中で相手がどういうふう考えているんだ、自分はどう考えているんだということ、自分を相対化できるようになると、これがすごく今後の先皆さんの財産になると思いますので、ぜひこれを機会にですね、皆さんこそがこれからこのダイバーシティ、あるいは女性の活躍推進をリードするリーダーだという意識を持って続けていただきたいと思います。今日は本当にどうもありがとうございました。